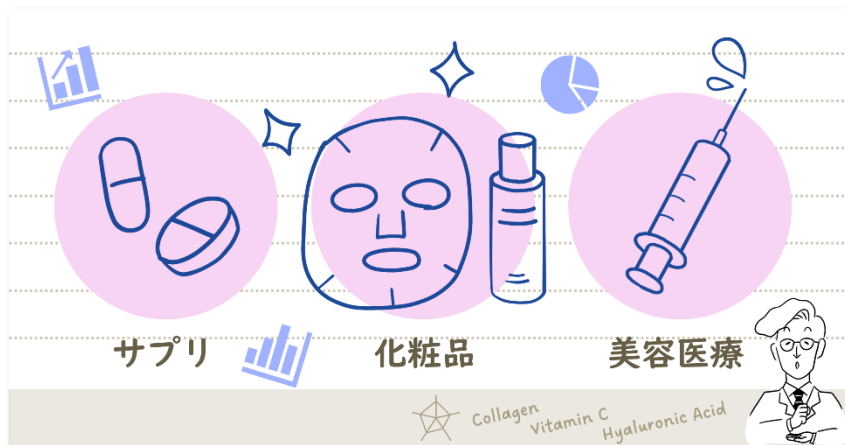


2024 年 6 月 26 日
花王株式会社(Kao Beauty Brands)

**興味関心のある美容成分 TOP3 は、
王道の「ビタミン C」「コラーゲン」「ヒアルロン酸」
年代ごとの効果イメージの違いも明らかに
全年代で興味の高い「ヒアルロン酸」について、研究員から基礎知識をご紹介します**



コロナ禍以降、自分のお肌への意識とともに、化粧品に加え美容医療やサプリなど、総合的なケアへの関心が高まっています。そこで、花王株式会社 ビューティリサーチ&クリエーションセンター（以下花王 BRCC）は、「顔の肌」のための美容成分（化粧品・美容医療・サプリなど、取り入れ方にこだわらず広義の美容成分）に関する調査^{*1}を行いました。調査の結果、興味関心のある成分は、「ビタミン C」「コラーゲン」「ヒアルロン酸」と、王道 3 成分が TOP3 に選ばれました。また、「興味関心のある成分」「美容成分の効果イメージ」において、年代ごとに違いがあることも分かりました。全ての年代で興味の高かった「ヒアルロン酸」について、意外と知られていない真実を、弊社研究員より、基礎知識としてご紹介します。

* 1 花王 BRCC 調査：2024 年 4 月 WEB 調査 20 代～60 代 女性 n=2,000（化粧水を週 4 日以上使用している人のうち、美容成分を「全く気にしない」方を除く 2,000 人）全ての結果は小数点第二位を四捨五入しています。

<調査結果サマリー>

■興味関心のある成分 TOP3 は王道 3 成分

1 位「ビタミン C」44.3%、2 位「コラーゲン」41.5%、3 位「ヒアルロン酸」40.2%

年代特徴：

若年は、韓国コスメや SNS で話題の成分に、上の年代は、体（健康）にも関連する成分に興味あり

■美容成分の効果イメージ 成分それぞれの効果イメージが浸透

ビタミン C：「日焼けによるシミ・ソバカスを防ぐ」58.0%

コラーゲン：「皮膚にうるおいを与える」58.2%、「肌にハリを与える」57.6%

ヒアルロン酸：「皮膚にうるおいを与える」59.3%

年代特徴：同じ成分でも、年代ごとの肌悩みに応じて異なったイメージ

■使ったことがない興味関心のある成分

1 位「ヒアルロン酸」12.0%、2 位「ヒト幹細胞培養液」11.8%、3 位「コラーゲン」11.4%

■「コラーゲン」と「ヒアルロン酸」の認識

「元々『顔の肌』の中にある」認識：「コラーゲン」34.8%、「ヒアルロン酸」16.2%

<調査結果>

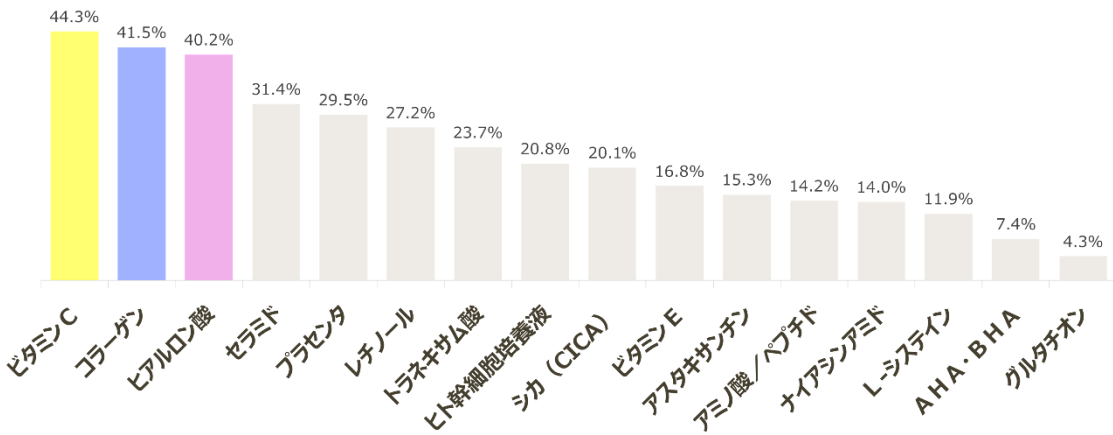
■興味関心のある成分 TOP3 は王道 3 成分

若年は、韓国コスメや SNS で話題の成分に、上の年代は、体（健康）にも関連する成分に興味あり

興味関心のある成分は、全年代計（20～60 代）で、1 位「ビタミン C」44.3%、2 位「コラーゲン」41.5%、3 位「ヒアルロン酸」40.2%と、昔から知られている王道成分が TOP3 を占め、4 位「セラミド」31.4%、5 位「プラセンタ」29.5%と続きました（図 1）。

図 1．興味関心のある成分

Q.あなたが「興味・関心のある美容成分」をお知らせください。(MA)



花王BRCC調査2024年4月 20～60代女性 n=2,000

年代別のランキングでは、全ての年代で「ビタミン C」「コラーゲン」「ヒアルロン酸」が 5 位以内にランクイン。20 代で「CICA」、20～30 代で「レチノール」、30 代以降で「セラミド」、40 代以降で「プラセンタ」があがっていました。さらに、年代ごとの順位推移を見ると、「ビタミン C」は 40 代以降で下降、「コラーゲン」は年代とともに上昇、「ヒアルロン酸」は全ての年代で 3 位以内となっていました（図 2）。

図 2．興味関心のある成分（年代別）

Q.あなたが「興味・関心のある美容成分」をお知らせください。(MA)

	20代 (N=400)		30代 (N=400)		40代 (N=400)		50代 (N=400)		60代 (N=400)	
1位	ビタミンC	45.8%	ビタミンC	46.5%	ビタミンC	39.5%	コラーゲン	47.5%	コラーゲン	45.8%
2位	レチノール	31.3%	ヒアルロン酸	36.3%	コラーゲン	39.0%	ヒアルロン酸	43.8%	ヒアルロン酸	41.5%
3位	ヒアルロン酸	28.8%	コラーゲン	34.3%	ヒアルロン酸	36.0%	ビタミンC	39.3%	プラセンタ	36.5%
4位	CICA	27.5%	セラミド	27.8%	セラミド	30.5%	セラミド	32.8%	ビタミンC	34.0%
5位	コラーゲン	25.5%	レチノール	26.3%	プラセンタ	29.0%	プラセンタ	32.3%	セラミド	29.8%

花王BRCC調査2024年4月 20～60代女性 n=2,000（各年代400人ずつ）

興味関心を持った理由を聞いたところ、全年代計（20～60 代）で、「顔の肌の悩みに効果が高そうだから」が 48.1%と最も高く、「昔からある成分で安心だから」が 21.4%、「美容医療で話題の成分だから」が 16.3%と続きました。成分に対し、高い効果を期待しながらも安心して使いたいという気持ちが反映されています。また、昨今増加傾向である美容医療への関心の高さも、影響しているようです。

年代ごとに見てみると、20～30 代では「SNS で話題の成分だから」、30～60 代では「テレビ・新聞などのマスメディアで話題の成分だから」という項目が高く、美容情報源の違いがうかがえます。さらに、20 代では「韓国コスメで話題の成分だから」が選ばれ、韓国コスメブームが美容成分選択にも影響していることが明らかです。また、健康意識が高まる 40 代以上では、「顔の肌以外の悩みにも効果が高そうだから」も選ばれていました。

■美容成分の効果イメージ 成分それぞれの効果イメージが浸透

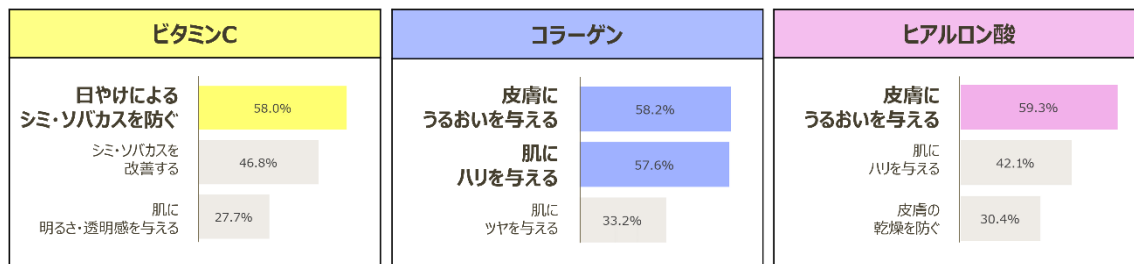
同じ成分でも、年代ごとの肌悩みに応じて異なったイメージ

興味関心がある TOP3 の成分について、各成分の効果イメージを複数選択肢の中から回答してもらいました。その結果、全年代計（20～60 代）で、ビタミン C は「日焼けによるシミ・ソバカスを防ぐ」が 58.0%、コラーゲンは「皮膚にうるおいを与える」58.2%「肌にハリを与える」57.6%、ヒアルロン酸は「皮膚にうるおいを与える」が 59.3%と、各成分に対して半数以上の人を持つ効果イメージがありました。王道の成分だけあって、広く一般に、成分それぞれのイメージが浸透していることが分かります（図 3）。

図 3．美容成分の効果イメージ

Q.「お顔の肌」にどのようなことをしてくれるのか、「働き（効果）」のイメージをお知らせください。(MA)

※全20項目中、上位3項目を掲載



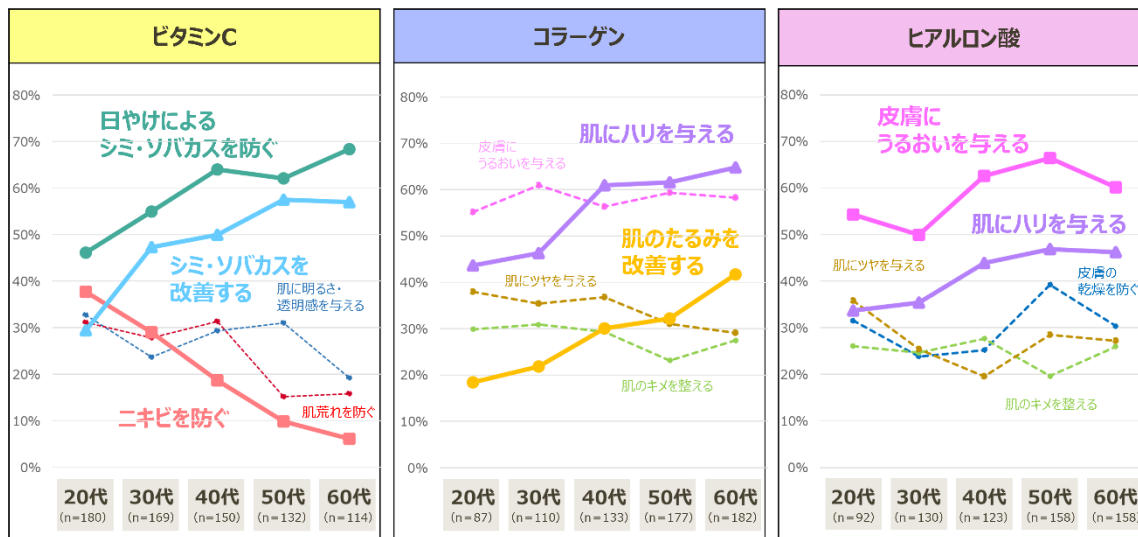
花王BRCC調査2024年4月 各成分に興味関心の高い20～60代女性 ビタミンC: n=745、コラーゲン: n=689、ヒアルロン酸: n=661

また、同一成分でも、年代ごとの肌悩みに応じて違いが見られました。ビタミン C は、年代とともに「日焼けによるシミ・ソバカスを防ぐ」「シミ・ソバカスを改善する」が上昇し「ニキビを防ぐ」が下降。コラーゲンは「肌にハリを与える」が 40 代から急増し、「肌のたるみを改善する」も増加。ヒアルロン酸は、他の 2 つに比べると年代差が小さいものの「皮膚にうるおいを与える」「肌にハリを与える」が年代とともに増加傾向が見られました（図 4）。

図 4．美容成分の効果イメージ（年代別）

Q.「お顔の肌」にどのようなことをしてくれるのか、「働き（効果）」のイメージをお知らせください。(MA)

※全20項目中、全年代計の上位5項目を掲載



花王BRCC調査2024年4月 各成分に興味関心の高い20～60代女性 ビタミンC: n=745、コラーゲン: n=689、ヒアルロン酸: n=661

■使ったことがない興味関心のある成分

ここで、今まで使ったことがないけれど興味関心のある成分について、あらためて聞いたところ、1 位「ヒアルロン酸」12.0%、2 位「ヒト幹細胞培養液」11.8%、3 位「コラーゲン」11.4%という結果に。使用有無にかかわらず「ヒアルロン酸」と「コラーゲン」は興味関心の高い成分であることが分かりました（図 5）。

図5. 使ったことがない 興味関心のある成分

Q.今までに使ったことがないけれど、興味・関心のある成分を3つ教えてください。

1位		2位		3位		4位		5位	
ヒアルロン酸	12.0%	ヒト幹細胞培養液	11.8%	コラーゲン	11.4%	プラセンタ	11.1%	セラミド	9.2%

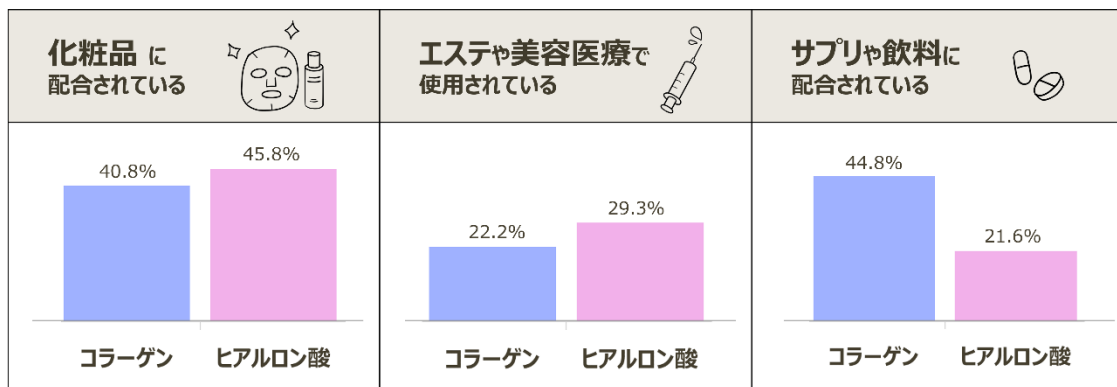
花王BRCC調査2024年4月 20～60代女性 n=2,000

■「コラーゲン」と「ヒアルロン酸」の認識

各成分について、どのような認識を持っているか聞いてみたところ、「コラーゲン」と「ヒアルロン酸」について、どちらも4～5割が「化粧品に配合されている」、2～3割が「エステや美容医療で使用されている」という認識を持っていました。一方で、「サプリや飲料に配合されている」については、コラーゲンが44.8%と、ヒアルロン酸 21.6%の約2倍という結果となり、2成分の認識の違いも見られました（図6）。

図6. 「コラーゲン」と「ヒアルロン酸」の認識（1）

Q.以下のイメージにあてはまる成分をお知らせください。（MA） ※全16成分中、「コラーゲン」「ヒアルロン酸」を掲載

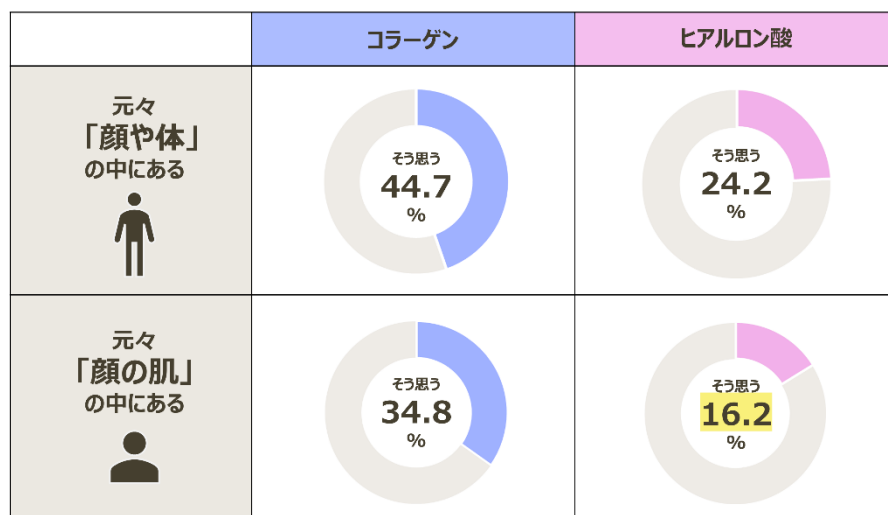


花王BRCC調査2024年4月 20～60代女性 n=2,000

また、「元々『顔や体』の中にある」や「元々『顔の肌』の中にある」という認識は、いずれもコラーゲンの方が高く、特に「『顔の肌』の中にある」については、コラーゲン 34.8%に対し、ヒアルロン酸 16.2%とこちらも約2倍の差が見られました。実際、コラーゲンもヒアルロン酸も肌の中に存在する成分ですが、特にヒアルロン酸についての認識の低さが浮き彫りとなりました（図7）。

図7. 「コラーゲン」と「ヒアルロン酸」の認識（2）

Q.以下のイメージにあてはまる成分をお知らせください。（MA） ※全16成分中、「コラーゲン」「ヒアルロン酸」を掲載



花王BRCC調査2024年4月 20～60代女性 n=2,000

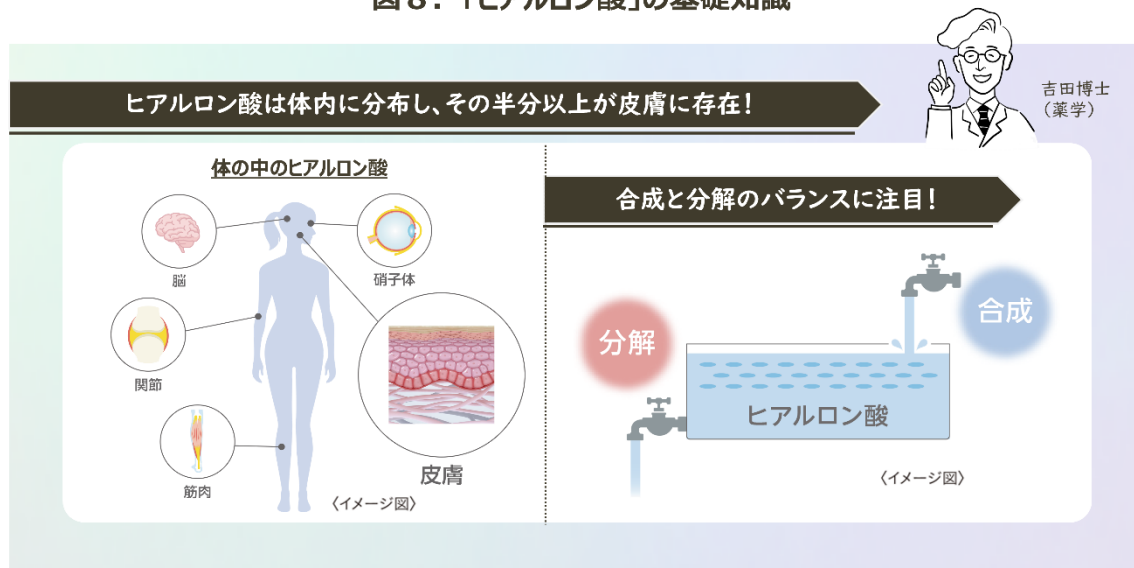
<ご紹介：「ヒアルロン酸」の基礎知識>

意外と知られていない美容成分の真実。ここでは、「肌の見た目印象や、皮膚の弾力性」など、肌の中で大切な役割をもつ「ヒアルロン酸」について、弊社研究員吉田博士（薬学）よりご紹介させていただきます。

「ヒアルロン酸は、体中に分布し、その半分以上が皮膚に存在します。皮膚で新しく『合成』されたヒアルロン酸は、1日～数日で約半分が『分解』されてしまいます。健全な肌では、ヒアルロン酸の『合成と分解のバランス』が保たれていて、シワ・たるみ部位では、このバランスが崩れていることが分かっています。肌の中に存在し、肌の内側で作られている『ヒアルロン酸』だからこそ、『合成を促進』し、過剰な『分解を抑制』することが大切です。健やかな肌を保つためにも、『育む』という発想も重要です（図8）。

自分の大切な肌だからこそ、さまざまな方向から知識を高め、美容成分を上手に活用し、総合的に「顔の肌のための美容」に取り組めていけるといいですね。」

図8. 「ヒアルロン酸」の基礎知識



花王株式会社 生物科学研究所 室長 博士（薬学）吉田浩之
大阪府出身。京都大学卒業後、京都大学大学院修了。1998年鐘紡株式会社入社、基礎科学研究所に配属される。2014年花王株式会社生物科学研究所主任研究員。同年博士号取得。現在、花王株式会社生物科学研究所室長。最先端のヒアルロン酸研究に取り組む。

【ヒアルロン酸をもっと詳しく知りたい方はこちら】

<https://www.kanebo-cosmetics.jp/dew/hyaluronicacid/>

【美容の情報はこちら】

ビューティコミュニティサイト「Kao Beauty Brands プレイパーク」では、美容に関するさまざまな情報を公開しています。<https://member.kao-kirei.com/jp/kbbplaypark/>

【花王 ビューティリサーチ&クリエーションセンターについて】



花王 化粧品事業部門の中で、科学的エビデンスや生活者リサーチ、美容トレンドに基づき、Kao Beauty Brands の全ブランドの基礎となる美容情報や技術を開発。Kao Beauty Brands のサイトにおいて、美容の情報も監修しています。